秦山公園に歴史の森が完成

秦山公園の**歴史の森**が完成し、６月１日から供用を開始しました。谷秦山墓所への途中には、ベンチが設けられています。東駐車場も利用者多数の際には駐車できるようになり、これにより秦山公園全体が完成となりました。

親子絵画鑑賞会

▲美術館長による説明

館長は「海外の美術館で、ベビーカーを目にすることは珍しくありません。絵に対する説明はいらないので、この絵はどう？などと聞いてあげることが大事です。きれいと言うことで、なにがきれいなのかを理解するようになる」と説明しました。

４月２３日、市立美術館で親子絵画鑑賞会が行われました。この鑑賞会は、子育て支援ネットワーク・ろばみみ（杉村彩代表）主催の**きっず・あーとぷろじぇくと**（全１１回）の第１回目の企画で、『岸田夏子の世界展』を美術館長の説明を交えて親子での鑑賞が行われました。２歳のお子さんを連れていた母親は「なにかのきっかけになればと思い参加しました」と話していました。

ろばみみから

今後は、毎月テーマを変えて、美術館の作品の観賞や、和紙などを使った制作を行っていく予定です。申し込みは、随時受け付けています。アートを通しての親子のコミュニケーションを楽しみましょう♪

【問い合わせ・申込先】
子育て支援ネットワーク・ろばみみ　杉村
☎080－3921－9548

博愛園１００周年

４月２４日、児童養護施設博愛園（土佐山田町神通寺）で博愛園創立１００周年記念式典が開催され、卒園者をはじめ約１２０人が参加しました。

式典では、初代園長の岡上菊栄さんや２代目園長武田紀さんらの功績がたたえられました。また、卒園者の思い出話の披露や、園児らによるバンド演奏があり、場を盛り上げました。

博愛園は、１９１０年４月に高知市に創立し、初代園長の岡上菊栄さんは、坂本龍馬の姉乙女の長女であることが知られています。１９６６年に土佐山田町神通寺に移転し、現在は、２～１８歳の４０人が、２３人の職員と生活を共にしています。

繁藤小中鮎の稚魚3,000匹放流

４月３０日、嶺北漁業協同組合が穴内川上流へ鮎の稚魚約３,０００匹を放流し、この放流に繁藤小中学校の児童生徒全員が参加しました。

この放流は河川美化、ダムによる河川の水量の減少などを児童に知ってもらうために行われたもので、鮎の放流のほか水質検査を行い（写真）、同組合から児童に対し、河川美化の話がありました。

児童生徒の書いた感想文には、「鮎の赤ちゃんは体温が低いので人間の手でさわるとやけどすることを知った」や「ポイ捨てを注意しよう」などと書かれていました。

(財)四国郵便局長協会子育てセンターへ寄贈

４月１４日、（財）四国郵便局長協会（理事長・加藤博史三加茂郵便局長）から、子育てセンターなかよし、子育てセンターぴらふへ、家具・おもちゃ・絵本等（約１００万円相当）が寄贈されました。

同協会は、地域貢献や福祉支援を目的に四国内の市町村を対象に寄付を行っており、本年は香美市が選ばれ、高知県東部地区会長の領石郵便局市川宏局長から教育委員会へ目録が手渡されました。

両センターでは、年間延べ３,０００人の親子の利用があり、今回寄贈を受けた品物は、親子遊びや健康相談等に利用される予定です。

ＪＡ土佐香美AED寄贈

４月１９日、市立中央公民館でＪＡ土佐香美（西内龍右代表理事組合長）から、香美市へAED※が寄贈されました。西村正代表理事専務から館長へAEDが手渡され、市からはＪＡ土佐香美に対し、感謝状が渡されました。この寄贈は、ＪＡ共済連が地域への貢献を目的に行っているもので、今回香美市へ２台のAEDが寄贈され、中央公民館とプラザ八王子に１台ずつ設置されました。

※AED（自動体外式除細動器）とは、けいれんにより、血液を流すポンプ機能を失った心臓に対し、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。